

第34回シンポジウム

「経営効率性評価—DEA法のフロンティアと応用事例—」

経営効率性の評価というテーマはあらゆる事業体にとってますます重要な課題となっております。そのための手法としてDEA(Data Envelopment Analysis)への関心が急速に高まってきました。先般、FORTUNE誌が「経営者のための経済学」というページで、新手法としてDEAを紹介したこともあって、この手法への実務家の関心も高まっています。本学会では、研究部会「評価のOR」(主査:刀根 薫,幹事:上田 徹)をもうけて、この方面の研究を進めて参りましたが、本年秋の学会シンポジウムを「経営効率性評価—DEA法のフロンティアと応用事例—」というタイトルの下に開催する運びとなりました。つきましてはこの分野に興味を持っておられる研究者や学生の方々、実際問題への応用を考えておられるの方々のご参加を歓迎いたします。

日時:10月15日(日) 10:00~17:30

場所:埼玉県県民活動総合センター(JR大宮駅からニューシャトルで羽貫駅まで約23分)

地図等につきましては、研究発表会のページをご覧ください。

実行委員長:上田 徹(成蹊大学)

プログラム:

- 10:00~10:40「DEAのモデルをめぐって—再論—」
刀根 薫(埼玉大学)
- 10:40~11:15「DEAにおけるスラックを考慮した効率性の評価法」
枇々木規雄(慶応義塾大学)
- 11:15~11:50「包絡分析と回帰分析を含む性能評価法 DEARA」
篠原正明(NTT通信網研究所)
- 11:50~12:25「DEA/DR法を用いた事業体の判別予

測」

杉山 学(東京理科大学), 末吉俊幸(オハイオ州立大学), 山田善靖(東京理科大学)

13:30~14:20「DEAに基づく限界費用価格形式: NTT電話基本料金に関する一考察」

末吉俊幸(オハイオ州立大学)

14:20~14:55「通信事業におけるDEA法の適用事例」
矢田 健, 中山竜起, 井上正之(NTT通信網研究所)

14:55~15:30「対数型DEAモデルを用いたウェイト付けの方法」

平瀬啓太(ソニー), 山口俊和(東京理科大学)

15:45~16:20「第三セクター鉄道の効率性に関する研究」
坂元純一(鹿児島県庁)

16:20~16:55「農協経営評価のためのDEA適用に関する一試論」

長谷部正, 木谷 忍, 伊藤房雄(東北大学)

16:55~17:30「資本市場の効率性とDEA分析」

清水康司, 高森 寛(青山学院大学)

協 賛:

経営情報学会, 日本経営工学会, 日本品質管理学会

参加費:正・賛助会員 3,000円, 学生会員 1,000円, 非会員 5,000円(協賛学会員は正会員に同じ)当日受付にてお支払いください。

問合せ先:〒180 武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

成蹊大学 工学部 経営工学科 上田 徹

Tel.0422(37)3793 Fax.0422(37)3869

E-mail:ueda@is.seikei.ac.jp

日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞(ソフトウェア部門)

第11回候補ご推薦のお願い

いまやORの研究・教育・実施においてはソフトウェアが不可欠のツールとなっています。しかも、年々多数の新しいすぐれたソフトウェアが作られています。これらは、はたして、広く有効に使われて、世の役に立っているでしょうか。

本学会員の声として、ORに関連するソフトウェアを

紹介し、評価し、会員に知らせてほしい、という要望がしばしば寄せられています。

学会では、このような情勢をふまえ、1985年度から優秀なソフトウェアの顕彰を実施いたしております。つきましては、今年度も下記の要領で、広く学会員から募集

(542頁へ続く)

平成7年度秋季研究発表会へのご参加の案内

今年の秋季研究発表会は以下の要領で行われます。

1. 研究発表会

期 日: 平成7年10月16日(月)～17日(火)

会 場: 埼玉県県民活動総合センター (地図参照)

受 付: ご出席の方は、当日、大会受付で参加費(正・賛助会員 6,000円, 学生会員 2,000円, 非会員 10,000円)を添えて、必ず登録してください。

実行委員長: 刀根 薫 (埼玉大学)

実行副委員長: 大山 達雄 (埼玉大学)

特別テーマ: 「ORの実施」

ORを成功させるためには、モデル、アルゴリズム、実施の3つの要素が整合した形で機能する必要があります。しかし、「実施」の姿はなかなか表に出にくいのが実状です。今回の研究発表会ではこの点にスポットライトを当てて、特別セッションの中に、各方面から幅広く実施例を集めました。会員の皆さんにおかれましては、ORを一層発展させるために、これらの発表に積極的に参加されるよう望みます。

特別講演: 一般公開・入場無料

(1) 「マルチメディアとこれからの経営」

NEC(株) 特別顧問 水野 幸男氏

(2) 「日本の獨創性」

理化学研究所 理事長 有馬 朗人氏

なお、特別講演は一般公開し、入場無料ですので、みなさまお誘い合わせの上ご参加ください。

招待講演: 文献賞、Lanchester賞(米国)を受賞された方々から、1件あたり質疑応答も含めて60分程度で、計3件のお話をうかがいます。

特別セッション: 次の5分野のテーマについて、個別に特別セッションを設けました。各セッションは60分程度です。

(a) ORの実施 (b) 公共システムとOR (c) 電力のOR (d) 金融のOR (e) 生産システムのOR

一般発表: 発表時間は例年どおり、質疑応答も含めて1件あたり20分となっています。なお、A会場での発表には、透明なOHPではなく、普通紙の投影装置を用いますので、透明でない普通紙の資料をご用意ください(プログラム参照)。

ペーパーフェア: プログラム上にコアタイムを設けておりますので、この時間帯には必ず発表をしていただくことになっています(プログラム参照)。もちろん、その他の時間帯での発表も自由となっております。

ORソフトウェア展示&書籍の展示: 希望される方はお問い合わせください(営業目的の場合は有料です)。

2. 懇親会

日 時: 10月16日(月) 18:00～20:00

場 所: 埼玉県県民活動総合センター内

レストラン「ジャポニカ」

Tel. 048(728)9333 Fax. 048(728)7522

参加申込: 当日、参加費6,000円を添えて受付にお申し出ください。

3. 問合せ先:

実行委員会: 埼玉大学大学院政策科学研究科

大山 達雄 〒338 埼玉県浦和市下大久保255

Tel. 048(858)3094, Fax. 048(852)0499 E-mail: oyamat@poli-sci.saitama-u.ac.jp

日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局:

〒113 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル内, Tel. 03(3815)3351 Fax. 03(3815)3352

(540頁から続く)

することになりましたので、奮ってご応募ください。

なお本賞を事例研究奨励賞の中のソフトウェア部門といたしましたのは過去の事例研究奨励賞においてコンピュータ・システムの開発に対する授賞を行なった実績も参考として決定したものであります。

〈募集要領〉

1. 賞の名称：日本オペレーションズ・リサーチ学会 事例研究奨励賞（ソフトウェア部門）
2. 選考の対象：ORの教育・実務において広くOR学会員に役立つもので、次のような対象を想定しております。
(1)教育用ソフトウェア
大学・企業・その他教育機関においてOR教育研修用のソフトウェア
(2)OR技術の先端的ソフトウェア
3. 応募資格：本学会の会員（個人に限らずグループや企業も対象となります）
4. 応募手続：(1)提出書類
①正会員による推薦状 1部
推薦状は学会所定の用紙とします。
②ソフトウェア機能説明書（A4判3枚以内）5部。
機能説明書は学会所定の用紙とします。
③その他参考資料
Input/Outputの例、解説書等の参考資料があれば、各1部添付してください。ただし、提出の義務はありません。
(2)提出先：日本OR学会表彰委員会
(3)応募締切：平成7年11月30日(木) 必着
5. 表彰：受賞者には、OR学会総会その他適当な機会に賞牌を授与するとともに、受賞ソフトウェアの要約をOR誌に掲載して表彰する。
6. その他：(1)応募するソフトウェアは、広くOR学会員に役立つことが必要な条件であるため、一般学会員からの利用の要請を受けたときは、その便に応じることとしてください。ただし、学会は、利用について仲介の労をとることはいたしませんから、当事者間で直接話し合ってください。
(2)受賞にもれたソフトウェアについても、適当なものについては、主な機能等の紹介をOR誌に行なうこととします。

●研究部会・グループ開催案内

・評価のOR

日 時：9月16日(土) 13:30～16:00

場 所：青山学院大学総研ビル(正門を入ってすぐ右手) 3F 第11会議室

テーマと講師：(1)「DEAにおける順位づけ問題」

中山 講治（日本たばこ産業）

キーワード：DEA 加法モデル、極大アサイクリック部分グラフ、集合被覆問題、Hasse 図

(2)「DEA/DR法を用いた事業体の判別予測」 杉山 学（東京理科大学）
キーワード：Discriminant Regression, 判別分析

問合せ先：成蹊大学 上田 徹

Tel.0422(37)3793 Fax.0422(37)3869

E-mail:ueda@is.seikei.ac.jp

・高度情報化社会における交通・流通

日 時：9月16日(土) 18:00～20:00

場 所：東洋経済新報社 会議室

テーマと講師：「世界の小売業について」

矢部 眞（工学院大学）

小売業の最近の変革を「A Survey of Retailing (The Economist, March 4,1995)」に掲載された論文をもとにディスカッションを行ないます。

問合せ先：鉄道総研 野末尚次

Tel.0425(73)7304

・COMのための生産計画・スケジューリング

日 時：9月25日(月) 18:30～20:30

場 所：青山学院大学総研ビル7階 第13会議室

テーマと講師：「石油精製業における生産計画スケジューリングへの線形計画法応用の実際」伊倉義郎 (SAITECH Inc.), 名原和弘 (出光興産(株)製造部)

石油精製業においては、需給最適化のための大規模LPモデルが一般的に用いられるようになって久しいが、精製工程計画分野では諸々の理由から当該手法の応用が低調である。本部会においては、CIM主要ファクターとしての工程スケジューリング最適化手法を簡便的に適用していくための提言を行ない、併せてアルゴリズムの応用について述べる。

問合せ先：東京大学先端科学技術研究センター

西岡靖之

Tel.03-3481-4486 Fax.03-3481-4585

E-mail:nishioka@ai.rcast.u-tokyo.ac.jp

●平成8年度春季研究発表会

日 程：平成8年5月15日(水)～16日(木) 研究発表会
5月17日(金) 見学会

場 所：小樽商科大学 (小樽市緑3-5-21)

実行委員長：若林信夫 (小樽商科大学)

●会合案内

・第151回新宿 OR 研究会

日 時：9月19日(火) 12:00~13:30

場 所：レストラン・レダ (新宿センタービル53F)

テーマ：「敗戦時の引揚方策」

講 師：村井 勉 (OR 学会会長・JR 西日本, アサヒビル名譽会長)

参加費：3,000円

・第29回丸の内 OR 研究会

日 時：9月21日(木) 18:30~21:00

場 所：学士会館 (神田錦町3-28)

テーマ：「災害の現場から」

講 師：小笠原暁 (芦屋大学学長)

参加費：丸の内 OR 研究会会員 (無料)

非会員 (3,000円) 当日受付でお支払いください。ただし、参加については1週間前までにお問い合わせください。

問合せ先：トーマツコンサルティング(株) 松下芳生
Tel.03(3457)6745

●第7回 RAMP シンポジウム

主 催：OR 学会数理計画法研究会 (RAMP)

開催日：9月21日(木), 22日(金)

会 場：東北大学工学部青葉記念会館 (〒980 仙台市青葉区荒巻字青葉 Tel.022(217)7993)

問合せ先：第7回 RAMP シンポジウム実行委員会
〒980-77 仙台市青葉区川内 東北大学経済学部経営学科 Fax.022(217)6321

委員長：武藤滋夫 (Tel.022(217)6303 E-mail: muto@econ, tohoku. ac. jp)

副委員長：大西匡光 (Tel.022(217)6305 E-mail: ohnishi@econ, tohoku. ac. jp)

詳細については8月号の学会だよりをご覧ください。

●他学協会案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので、皆様奮ってご参加ください。

・生産スケジューリング・シンポジウム'95 (共催)

共 催：当学会, システム制御情報学会他

日 時：10月2日(月)

場 所：京都工芸繊維大学 (京都府京都市)

申込・問合せ先：〒606 京都市左京区松ヶ崎御所海道町

京都工芸繊維大学工芸学部機械システム工学科
木瀬 洋

Tel.075(724)7353 Fax.075(724)7300

・システム制御情報チュートリアル講座「システム同定入門」(協賛)

主 催：システム制御情報学会

日 時：10月3日(火)・4日(水)

場 所：住友金属工業(株) 小倉製鉄所内社員クラブ

申込・問合せ先：〒606 京都市左京区吉田河原町14番地
近畿地方発明センタービル内 システム制御情報学会
Tel.075(751)6413 Fax.075(751)6037

・第9回日本計算機統計学会シンポジウム「日本における統計ソフトの過去・現在・未来」(協賛)

主 催：日本計算機統計学会

日 時：10月19日(木)・20日(金)

場 所：両国シティアコア16階会議室 (東京都墨田区)

申込・問合せ先：〒130 墨田区両国2-10-14 両国シティアコア 住商情報システム(株)営業第4本部 新村秀一
Tel.03(5624)1766 Fax.03(5624)1725

●公募案内

・筑波大学社会学類

募集人員：助教授または講師1名

専門分野：都市計画, 地域科学, 交通計画, 環境計画(統計学や情報処理の基礎科目を併せて担当できる者)

応募資格：博士の学位を有し, 原則として40歳未満の者。
採用予定：1996年4月1日

応募締切：9月末日

提出書類：履歴書, 研究業績リスト, 論文別刷, 他詳細については問合せのこと。

問合せ・送付先：〒305 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学社会学類長 腰塚武志
Tel.0298(53)4961 Fax.0298(53)5124

・東京都立科学技術大学工学部生産情報システム工学科

募集人員：助教授または講師1名

専門分野：経営工学, 経営情報システム, 経済性工学など

応募資格：採用予定時期において博士の学位を有し, 年齢45歳位までの者

採用予定：1996年4月1日

応募締切：11月30日(必着)

提出書類：履歴書, 教育研究業績目録, 主要論文別刷他
問合せのこと。

問合せ先：〒191 日野市旭が丘6-6, 東京都立科学技術大学工学部管理工学科 教授 坪根 斉

Tel.0425(83)5111 内3603 Fax.0425(83)5119

・国際コミュニケーション基金平成7年度後期助成・援助要項

助成対象・種類:1996年4月から1997年9月末までに開催あるいは実施されるものを対象とし、次の種類の助成を行なう。(1)調査研究助成:国際通信の調和ある進歩・発展に寄与する調査研究(文化系・理科系諸分野)に対する助成。(2)国際会議開催助成:国際通信の普及・発展に寄与する国際会議に対する助成。(3)社会的・文化的諸活動助成:国際パソコン通信や国際通信を用いた文化事業等に対する助成。

申込期間:10月1日~31日(必着)

申込・問合せ先:〒163-03 新宿区西新宿2-3-2
KDDビル31F(財)国際コミュニケーション基金
Tel.03(3347)7094 Fax.03(3347)6439

・鹿島学術振興財団 平成7年度研究助成

助成の趣旨:都市・居住環境の整備および国土・資源の有効利用等による国民生活環境の向上、わが国学術の発展ならびに学術の国際交流を図るため、この目標にかなった研究に対して助成を行ない、わが国学術の向上進展に寄与しようとするものである。

助成対象分野:都市ならびに居住環境の向上、災害・公害の防止、国土の有効利用と保全、交通・輸送能力の向上、海洋の利用と保全、水資源の確保と有効利用、エネルギーおよび資源の輸送・貯蔵・有効利用、廃棄物の処理と再資源化、文化的遺産・自然環境の保全など。

助成対象研究者:上記対象分野に関する研究を行なう研究者または研究グループ、特に学際的組織で行なわれる研究が望まれる。

助成金額:総額4500万円(1ヵ年間)、1件当りの助成金は、継続期間の分も含めて300万円ないし1000万円。

推薦締切:平成7年11月20日(OR学会の推薦を希望される方は、9月末日までに学会表彰委員会宛に書類をご提出ください)

問合せ先:〒107 港区赤坂6-5-30 Tel.03(3584)7418
(財)鹿島学術振興財団

●サイエンス・ボランティア募集について

文部省では平成7年度からサイエンス・ボランティア制度を実施することとなり、「サイエンス・ボランティア登録名簿の作成および提供」業務を(社)日本工学会に委託してまいりました。この制度は、青少年や社会人に科学技術について正しい知識と理解を深めてもらうために設けたものです。

日本には自然科学に関する博物館が約260あります。しかし、来館者に説明し、かつ正しい知識と理解を与える学芸員は、1館あたり0.3名しかおりません。また、都道府県の教育委員会等が主催する各種のイベントでも、科学技術に関する正しい表現等に欠けるものも見受けられます。

そこで、文部省では、教育機関(大学・高専・高校等)で長く青少年教育にたずさわった方、企業等で専門家として活躍された方、特殊な技術をもっている方々のご協力を得て、全国的にサイエンス・ボランティア活動を本年度から実施することにしました。この制度は人材派遣ではなく、サイエンス・ボランティアを必要とする機関に情報を提供する事業です。

それに従って、日本工学会では下記要綱でサイエンス・ボランティアを公募いたします。

応募期日:いつでも受付ます。ただし、本年度は初めてです。一応の期限を平成7年10月末日とします。

応募資格:特にありませんが、ボランティアとして青少年・社会人に科学技術の面白さを教えたり、一緒に楽しめる方

応募申込み:ハガキに氏名・年齢・性別・連絡先住所・同電話番号を明記して、日本工学会まで登録用紙を請求してください。

資格審査:日本工学会内に設けた「サイエンス・ボランティア企画委員会」において資格審査を行ない結果をお知らせします。

問合せ先:〒107 港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
(社)日本工学会「サイエンス・ボランティア係」
Tel.03(3475)4621 Fax.03(3403)1738

「会員名簿」予約申込についてのお願ひ 事務局

1995年度版の会員名簿を作成することになりました。会員名簿は、会員の方々への限定刊行で、**有料・予約制**です。申込締切(振込締切)は9月29日(金)となっておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

1995年度 秋季研究発表会

特別テーマ：ORの実施

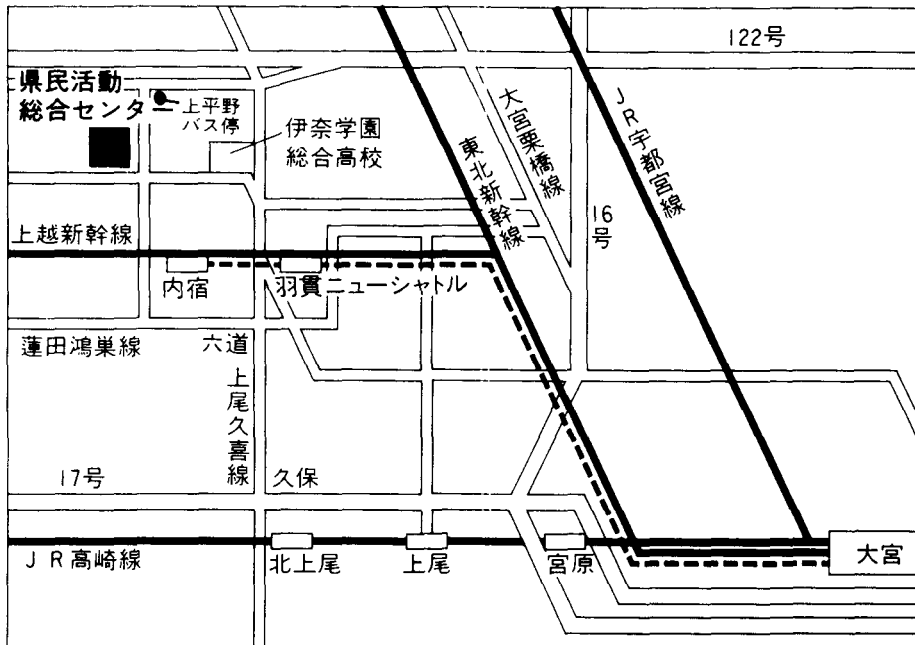
日時：1995年10月16日(月)，17日(火)

会場：埼玉県県民活動総合センター

〒362 埼玉県伊奈町小針内宿1600

Tel. 048(728)7111 (代表)

	月日	時間	会場
研究発表会	10月16日(月)	10:00~17:20	埼玉県県民活動総合センター
	10月17日(火)	9:30~16:50	
懇親会	10月16日(月)	18:00~20:00	埼玉県県民活動総合センター内 レストラン・ジャポニカ



交通案内：

JR「大宮駅」より「ニューシャトル」にて、「羽貫駅」下車(約23分)。「羽貫駅」より無料送迎バス利用(5分)。健脚の方は、「ニューシャトル」の終点「内宿」より徒歩15分。なお、10月16日(月)、17日(火)の両日とも、朝夕、「羽貫駅」「会場」間を随時マイクロバスで送迎する予定です。

学会だより

ニューシャトル標準時刻表

大宮駅 → 羽貫駅	
平日	休日
8 00 05 11 16 27 41 51	00 15 30 45
9 01 15 30 45	00 15 30 45
10 00 15 30 45	00 15 30
11 00 15 30 45	00 30
12 00 15 30 45	00 30
13 00 15 30 45	00 30
14 00 15 30 45	00 30
15 00 15 30 45	00 30 45
16 00 15 30 45 55	00 15 30 45
17 05 15 25 35 45 55	00 15 30 45
18 05 15 25 35 45 55	00 15 30 45
19 05 15 25 35 45	00 20 40
20 00 15 30 45	20
21 00 15 30 45	00 20
22 00 15 30 45	00 40
23 00 20	00 20

羽貫駅 → 大宮駅	
平日	休日
8 04 14 24 35 46	02 17 32 47
9 03 18 32 47	02 17 32 47
10 02 17 32 47	02 17 32 47
11 02 17 32 47	02 32
12 02 17 32 47	02 32
13 02 17 32 47	02 32
14 02 17 32 47	02 32
15 02 17 32 47	02 32
16 02 17 27 37 47 57	02 17 32 47
17 07 17 27 37 47 57	02 17 32 47
18 07 17 27 37 47 57	02 17 32 52
19 07 17 32 47	12 32 52
20 02 17 32 47	12 52
21 02 17 32 47	32 52
22 02 17 32 52	32
23 12	12

*網掛けは送迎バスに接続しています

送迎バス標準時刻表

羽貫駅 → 県民活動総合センター	
平日	休日
8 18 35 49	14 44
9 20 44	29 59
10 14 44	29 59
11 14	59
12 14 44	29 59
13 13 59	29 59
14 29 59	29 59
15 29 59	29 59
16 29 59	29 59
17 25 54	27 59
18 14 44	29 59
19 14	29
20 04 29	09 49
21 14	29

県民活動総合センター → 羽貫駅	
平日	休日
8 06 27 42	33
9 09 33	18 48
10 02 32	18 48
11 02	48
12 03 32	18 48
13 02 48	18 48
14 17 48	18 48
15 17 48	18 48
16 17 43	18 48
17 17 36	18 36
18 03 36	18 38
19 03 50	18 58
20 18	38
21 02 37	18 42

研究発表会スケジュール

10月16日(月)

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場
10:00	特別セッション 電力のOR(1)	動的計画法(1)	地域・政策(1)	ゲーム理論(1)	数理計画(1)	組合せ最適化(1)
11:00	特別セッション 生産システムのOR	動的計画法(2)	地域・政策(2)	ゲーム理論(2)	数理計画(2)	組合せ最適化(2)
12:10	昼 休 み					
13:30	学生論文賞受賞式 (S会場)					
14:00	特 別 講 演 (S会場) 水野 幸男 「マルチメディアとこれからの経営」					
15:00	特別セッション ORの実施	信頼性	地域・政策(3)	意思決定(1)	招待講演(S会場) Lanchester賞	電力の最適化
16:10	特別セッション 金融のOR	データ解析	地域・政策(4)	意思決定(2)	グラフ・ ネットワーク(1)	組合せ最適化(3)
16:20	懇 親 会					
17:20						
18:00						

10月17日(火)

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場	F 会場
9:30	特別セッション 公共システムとOR	生産計画(1)	待ち行列	社会	グラフ・ ネットワーク(2)	組合せ最適化(4)
10:30	招待講演(A会場) 文献賞 室田一雄	招待講演(S会場) 文献賞 高橋敬隆				
11:40	昼 休 み					
12:50	特 別 講 演 (S会場) 有馬 朗人 「日本の独創性」					
13:50	ペ ー パ ー フ ェ ア (P会場) ・ ソ フ ト ウ ェ ア (X会場)					
14:00						
14:30	特別セッション 電力のOR(2)	生産計画(2)	金融(1)	意思決定(3)	グラフ・ ネットワーク(3)	組合せ最適化(5)
15:40	シミュレーション	生産計画(3)	金融(2)	意思決定(4)	グラフ・ ネットワーク(4)	ファジィ
15:50						
16:50						

発表題目一覧

10月16日(月)

・印:発表者

時刻	A 会場	B 会場	C 会場
10:00	電力のOR (1) オーガナイザ:奈良宏一	動的計画法 (1)	地域・政策 (1)
	1-A-1 環境対策技術を考慮した電源開発計画策定モデル 大屋隆生 (電力中央研究所)	1-B-1 ファジイ環境下における無限ステージ意志決定過程 藤田敏治 (九州大学)	1-C-1 混雑度一定の都市モデルによる運輸エネルギー消費を抑制する都市構造 秋澤淳 (東京農工大学)
	1-A-2 電力需要の相関を考慮した確率的電力供給計画モデル 椎名孝之 (財)電力中央研究所	1-B-2 リコールの可否が制御できる最適停止問題 齋藤毅 (筑波大学)	1-C-2 錐台型ビルにおける通動用通路面積 *李明哲, 伏見正則 (東京大学)
	1-A-3 電線着雪予測システムの開発について *長谷川淳 (北海道大学), 駒井誠二 (三菱電機), 山岡勝, 伊藤達人, 齋藤邦良 (北海道電力), 谷口恭 (日本気象協会)	1-B-3 A Stochastic Sequential Allocation Problem where the Resources Can Be Replenished 佐藤雅宏 (筑波大学)	1-C-3 通勤交通を考慮した高層ビルの効率的形状 *李明哲, 伏見正則 (東京大学)
11:00			
11:10	生産システムのOR オーガナイザ:米田 清	動的計画法 (2)	地域・政策 (2)
	1-A-4 バックワード・フォワードスケジューリングを活用した多段工程操業計画法 中川義之, *熊本和浩, 浅田克暢, 藤井憲和 (住友金属工業(株))	1-B-4 探索経路所与の移動目標探索問題に対する確率戦略 *宝崎隆祐, 飯田耕司, 木山雅晶 (防衛大学校)	1-C-4 人口集中地区を画定する密度基準 腰塚武志 (筑波大学)
	1-A-5 最短経路問題を適用した樹脂生産順序付け *榎木秀二 (出光興産(株)), 遠藤操, 佐藤暢一 (出光石油化学(株))	1-B-5 The Application of Fuzzy Dynamic Programming to Power System Planning and Operation Problems Graeme GIBSON, Hiroyuki KITA (Hokkaido University), Ken-ichi NISHIYA (Hokkaido Inst. of Technology), *Jun HASEGAWA (Hokkaido University)	1-C-5 鉄道が敷設された領域の平均移動時間の導出について *三浦英俊, 腰塚武志 (筑波大学)
	1-A-6 半導体生産工程におけるスケジューリングについて 坂本英夫 ((株) 東芝)		1-C-6 時間距離網と作図可能な必要条件 古藤浩 (東北芸術工科大学)
12:10			
昼 休 み			
13:30	<学生論文賞受賞式>		
14:00	<特別講演> (S会場)		
15:00	S-1 マルチメディアとこれからの経営	水野幸男 (NEC(株) 特別顧問)	

(つづく)

学会だより

発表題目一覧

10月16日(月)

*印:発表者

時刻	D 会場	E 会場	F 会場
10:00	ゲーム理論 (1)	数理計画 (1)	組合せ最適化 (1)
	1-D-1 相互依存的な選好を持つ主体の集団が行うゲームの枠組みについて *猪原健弘, 中野文平 (東京工業大学) 1-D-2 非加法的集合関数と線形不等式 柏原賢二 (東京工業大学) 1-D-3 あるリスク分担問題に対する Nash 交渉解 大西匡光 (東北大学)	1-E-1 Centers of Generalized Complementarity Problems *信太正之 (神奈川大学), 進藤晋 (防衛大学校), 小島政和 (東京工業大学) 1-E-2 非凸2次計画問題に対する Semidefinite Programming 緩和 *藤江哲也, 小島政和 (東京工業大学) 1-E-3 A Valid Perturbation and Lexicographic Ordering in Optimization over the Efficient Set *Shiroh Suzuki, Phan Thien Thach (Tokyo Institute of Technology)	1-F-1 幹線配送計画問題 *毛利裕昭 (東京工業大学, (株)三菱総合研究所), 久保幹雄 (東京商船大学), 森雅夫 (東京工業大学) 1-F-2 重複訪問巡回セールスマン問題 高橋馨郎, 西澤一友 (日本大学), *栗田晶子 (住商情報システム) 1-F-3 TSP に対する発見的手法の確率的解析 *岡田正浩, 田地宏一, 福島雅夫 (奈良先端科学技術大学院大学)
11:00	ゲーム理論 (2)	数理計画 (2)	組合せ最適化 (2)
11:10	1-D-4 Arbitration under Different Information *菅道智 (京都大学), 大西匡光 (東北大学), 茨木俊秀 (京都大学) 1-D-5 Entropic Decision Criteria Applied to Bimatrix Games 坂口実 (名古屋商科大学) 1-D-6 Competitive Prediction of a Random Variable *坂口実 (名古屋商科大学), Krzysztof Szajowski (Techn. Univ. of Wroclaw)	1-E-4 単調な相補性問題に対する修正ニュートン法 *山下信雄, 福島雅夫 (奈良先端科学技術大学院大学) 1-E-5 Production Management Model for Goods Produced through Many Intermediates 中井暉久 (関西大学) 1-E-6 非凸燃料費関数を持つ経済負荷配分問題の解法 *佐藤泰司 (山口大学), 伊藤雅 (愛知工業大学)	1-F-4 Fractional Degree-two Polytopes and Ideal Polytopes of Bidirected Graphs 安藤和敏 (筑波大学) 1-F-5 An Efficient Algorithm for the Minimum-Range Ideal Problem 根本俊男 (筑波大学) 1-F-6 Extensions of Partially Defined Boolean Functions with Missing Data BOROS Endre (Rutgers University), 茨木俊秀, *牧野和久 (京都大学)
12:10	昼 休 み		
13:30	<学生論文賞受賞式>		
14:00	<特別講演> (S会場)		
15:00	S-1 マルチメディアとこれからの経営	水野幸男 (NEC(株) 特別顧問)	

(つづく)

学会だより

10月16日(月)

*印:発表者

時刻	A 会場	B 会場	C 会場
15:10	<p>ORの実施 オーガナイザ: 森戸 晋</p>	<p>信頼性</p>	<p>地域・政策(3)</p>
	<p>1-A-7 フィールド・サイエンスとしてのOR *徳山博干, 中川義之 (住友金属工業(株))</p> <p>1-A-8 OR-実施問題から経営問題へ 山田善靖(東京理科大学)</p> <p>1-A-9 Global Asset Allocation by AHP *開澤栄相, 鈴木政博 (株)日興リサーチセンター)</p>	<p>1-B-7 ベイズの定理を構成したニューラルネットワークによる指数分布の信頼度分布表現 *篠原康秀, 尾崎俊治(広島大学)</p> <p>1-B-8 機械故障をともなう生産システムにおけるロットサイズの決定法I 土肥正, 山田康哲(広島大学), *海生直人(広島修道大学), 尾崎俊治(広島大学)</p> <p>1-B-9 保証期間を考慮したソフトウェアの最適リリース問題に関する一考察 山田茂(鳥取大学)</p>	<p>1-C-7 地球環境問題における国際協力の効果の検証 *藤田敏之, 伏見正則 (東京大学)</p> <p>1-C-8 地方自治体における地域情報化の評価モデル(3) *堀内哲朗, 片谷教孝(山梨大学)</p> <p>1-C-9 春日部における高額所得納税金額の分布について 牧野都治(東京理科大学)</p>
16:10			
16:20	<p>金融のOR オーガナイザ: 葛山康典</p>	<p>データ解析</p>	<p>地域・政策(4)</p>
	<p>1-A-10 プリバイメント・モデルの現状—非合理性のモデル化— 青沼君明(三菱銀行)</p> <p>1-A-11 Linear Granger Causality Block Exogeneity Test between Stock Returns and Volume 高山俊則(MTEC 研究所)</p> <p>1-A-12 ヴォラティリティー変動下でのOTC株式オプションのヘッジ手法について 飯塚仁嗣(日興証券(株))</p>	<p>1-B-10 間欠故障データを含む場合の故障傾向解析—EM アルゴリズムを基にしたテーブル化法による推定— 福岡博 (財)鉄道総合技術研究所)</p> <p>1-B-11 不完全情報下での主成分分析 *高橋鶴郎, 大澤慶吉, 西澤一友, 王克義(日本大学)</p> <p>1-B-12 6人制バレーボールゲームの試合の流れの分析 田口東(中央大学)</p>	<p>1-C-10 2国間の経済援助に関する交渉モデル 渡辺隆裕(東京工業大学)</p> <p>1-C-11 経済の最適制御と政策情報システム 間遠伸一郎(宇都宮大学)</p>
17:20			
18:00	懇親会		

学会だより

10月16日(月)

*印:発表者

時刻	D 会場	E 会場	F 会場
15:10	意思決定 (1)	Lanchester 賞 (S会場)	電力の最適化
16:10	1-D-7 AHP法の整合度および重要度に関する感度分析 *大西真一(北海学園大学), 今井英幸(北海道大学) 1-D-8 5段階評定とAHPによる音楽の感性の測定の試み 宮地功(岡山理科大学) 1-D-9 θ 法AHPの整合度に関する検討 *王克義, 高橋肇郎(日本大学)	I-1 線形計画問題に対する主対内点法と、その相補性問題への拡張 1992年度 Lanchester 賞受賞の対象論文を中心として *吉瀬章子(筑波大学), 小島政和(東京工業大学), Nimrod Megiddo (IBM Almaden 研究所), 水野真二(統計数理研究所), 野間俊人(防衛庁)	1-F-7 Reactive Power Suppliers Control Using a Genetic Algorithm Song-Keun Lee, Jong-Keun Park (Seoul National University), Hiroyuki Kita, *Jun Hasegawa (Hokkaido University) 1-F-8 ニューラルネットカウンアンマシンによる発電機起動停止計画問題の解法 崔永海, 北裕幸(北海道大学), 西谷健一(北海道工業大学), *長谷川淳(北海道大学) 1-F-9 GA, SA, TSの融合による火力発電機補修計画問題の解法 *金賢哲, 林泰弘, 奈良宏一 (茨城大学)
16:20	意思決定 (2)	グラフ・ネットワーク (1)	組合せ最適化 (3)
17:20	1-D-10 DEAにおける特異値分解の活用について *野口弘(東洋紡(株)), 石井博昭(大阪大学) 1-D-11 DEAにおける時系列データの分析法 *増田久美(東京理科大学), 平瀬啓太(ソニー(株)), 山口俊和(東京理科大学) 1-D-12 分析者の先験的な情報を用いた優先順位モデル 山田善靖, 杉山学,*根田光 (東京理科大学)	1-E-10 Computing the Tutte Polynomial of a Graph and the All-Terminal Network Reliability *関根京子, 今井浩(東京大学) 1-E-11 Monge性をもつ重みつき2部グラフでの最適k-割当問題に対する効率的算法 繁野麻衣子,*塩浦昭義 (東京工業大学) 1-E-12 木構造ネットワーク上の部分木配置問題に対する高速解法 *宇野毅明, 塩浦昭義 (東京工業大学)	1-F-10 制約充足問題(CSP)に対するタブー探索の適用 *野々部宏司, 茨木俊秀 (京都大学) 1-F-11 変動する環境下での1機械スケジューリング問題に対する遺伝アルゴリズムの適用について *加藤真治, 柳浦睦憲, 茨木俊秀 (京都大学) 1-F-12 無向グラフにおけるk-辺分割問題の一般化について 永持仁,*石井利昌, 茨木俊秀 (京都大学)
18:00	懇親会		

学会だより

発表題目一覧

10月17日(火)

*印:発表者

時刻	A 会場	B 会場	C 会場
9:30	公共システムとOR オーガナイザ: 古林 隆	生産計画 (1)	待ち行列
	2-A-1 数理計画モデルによる家庭ごみ処理システムの最適化 *栗崎寿也(札幌市), 大山達雄(埼玉大学)	2-B-1 棚移動型自動倉庫のシミュレータによる最適化の検証 *下田和裕, 山口紀生 (九州東海大学)	2-C-1 $M(k)^X/G/1/N$ と $GI/M(k)^Y/1/N$ の系内数分布への 統一のアプローチ 馬場裕(横浜国立大学)
	2-A-2 最適行政投資配分問題に対する目標計画モデルの適用 *小金丸健(熊本県), 大山達雄(埼玉大学)	2-B-2 フロー・ショップ問題におけるルールの帰納的獲得 藤井進, 森田浩,*諏訪晴彦 (神戸大学)	2-C-2 空間的に斉次なブロック構造をもつマルコフ連鎖の定常分布 牧本直樹(東京工業大学)
	2-A-3 新郵便処理システムのシミュレーション分析 *磯部俊吉, 渡辺昇治, 北島光泰 (郵政研究所), 森戸晋(早稲田大学)	2-B-3 ナース・スケジューリング・システム構築のためのモデリング 池上教子(成蹊大学)	2-C-3 ダイレクトメールにおける需要予測モデル(テストカタログを用いない場合) 三道弘明(流通科学大学)
10:30			
10:40	文献賞 (A会場)	文献賞 (S会場)	
	I-2 組合せ最適化と凸解析 室田一雄(京都大学)	I-3 待ち行列論における基本公式—分布版リトルの公式について— 高橋敬隆(NTT通信網研究所)	
11:40	昼 休 み		
12:50	<特別講演> (S会場) S-2 日本の独創性		有馬朗人(理化学研究所理事長)
13:50			
14:00	ペーパーフェア (P会場)		
	P-1 「評価のOR」研究部会中間報告 P-2 ORソフトウェア研究部会活動報告 P-3 AHPにおける不完全一対比較の影響		刀根薫(埼玉大学),*上田徹(成蹊大学) *八巻直一(システム計画研究所), 宮田雅智(青山学院大学) *長沢伸也(立命館大学)
14:30			

(つづく)

発表題目一覧

10月17日(火)

*印:発表者

時刻	D 会場	E 会場	F 会場
9:30	社会	グラフ・ネットワーク(2)	組合せ最適化(4)
	2-D-1 PDPC法による海難分析 山地哲也(海上保安大学校) 2-D-2 非営利組織におけるリエンジニアリング—社会福祉法人「桑の実会」を実例として— *江藤香(日本工業大学), 桑原哲也 (社会福祉法人「桑の実会」), 三田篤(アルファシステムズデザイン), 松田郁夫(日本工業大学) 2-D-3 マルチメディアの史的展開—推移図による分析— 荻野正浩(中央大学)	2-E-1 再配置問題のグラフ論的性質 *巴波弘佳, 伊藤大雄, (NTT通信網研究所) 2-E-2 補グラフ入力に対する線形時間グラフ探索アルゴリズム 伊藤大雄 (NTT通信網研究所) 2-E-3 一般グラフの Dulmage-Mendelsohn 型分解 岩田寛(京都大学)	2-F-2 $\lfloor n/2 \rfloor$ 数が 2^{n-1} のときの0-1ナップザック問題の効率的解法 林芳男(近畿大学) 2-F-3 Max-Min ナップザック問題の近似解法 *二川真由美, 山田武夫, 片岡靖詞,(防衛大学校)
10:30			
10:40			
11:40	昼 休 み		
12:50	<特別講演> (S会場) S-2 日本の独創性		
13:50	有馬朗人(理化学研究所理事長)		
14:00	ソ フ ト ウ ェ ア (X会場)		
	X-1 行列演算用言語 LAMAX-1 と計算数学教育 八巻直一((株)システム計画研究所),*内田智史(神奈川大学), 本郷茂(青山学院大学) X-2 多目的マルコフ決定過程のためのプログラムソフト *浦田和芳, 外川一仁(長岡工業専門学校)		
14:30			

(つづく)

学会だより

10月17日(火)

*印:発表者

時刻	A 会場	B 会場	C 会場
14:40	<p>電力のOR(2) オーガナイザ:鈴木道夫</p> <p>2-A-4 種々の運用状態を考慮した大規模放射状ネットワークの多年度設備増設計画手法 *桑原兵二郎(近畿大学), 奈良宏一(茨城大学)</p> <p>2-A-5 送電系統拡充計画問題へのGA融合型ニューロコンピューティングの応用 由本勝久,*安田恵一郎, 横山隆一(東京都立大学)</p> <p>2-A-6 タブー探索による電力系統新設配電線の連系経路決定手法 奈良宏一,*林泰弘,山藤幸博 (茨城大学), 武藤昭一(東京電力)</p>	<p>生産計画(2)</p> <p>2-B-4 タイムウインドウ付きアロー・ダイアグラムにおける日程管理について 宝崎隆祐(防衛大学校)</p> <p>2-B-5 生産輸送計画システムの開発 相沢健実,河野高洋,*香月毅, (秩父小野田(株))</p> <p>2-B-6 原油タンクスケジューリングへの適用—数理計画法による定式化— *草刈君子,宮崎知明 (富士通(株)), 池ノ上晋(富士石油(株))</p>	<p>金融(1)</p> <p>2-C-4 ニューラルネットワークによるオプション価格予測に関する考察 *土肥正, 畠山真明, 尾崎俊治 (広島大学)</p> <p>2-C-5 相関構造を取り入れた先物為替ボジション評価モデル *佐藤秀一(住友銀行), 吉田敏弘(筑波大学)</p> <p>2-C-6 製造業の財務計画問題へのALMの適用 *安居院真宏, 山口俊和 (東京理科大学)</p>
15:40			
15:50	<p>シミュレーション</p> <p>2-A-7 ベトリネットを用いた避難シミュレーションモデル *池原栄史, 椎塚久雄 (工学院大学)</p> <p>2-A-8 数列の系列相関の絶対値が小さい乗算合同型擬乱数生成法の探索 *坂本宗隆, 森戸晋(早稲田大学)</p>	<p>生産計画(3)</p> <p>2-B-7 Lagrange 緩和法によるスケジューリングの実用化(1)問題の抽象化と解の具体化 *加納敏行(東芝), Peter B. Luh(University of Connecticut), 長谷川哲夫, 京屋祐二, 米田清 (東芝), Ling Gou(University of Connecticut)</p> <p>2-B-8 Lagrange 緩和法によるスケジューリングの実用化(2)実行可能解の構成 *京屋祐二(東芝), Ling Gou, Peter B. Luh(University of Connecticut), 米田清, 長谷川哲夫, 加納敏行 (東芝)</p>	<p>金融(2)</p> <p>2-C-7 下方リスクを考慮したポートフォリオ最適化モデル—平均下方部分積率(MLPM)モデルを代替するオープンL字型(OPLS)モデル— 枇々木規雄(慶應義塾大学)</p> <p>2-C-8 多期間資産選択問題に対する内点法の適用 竹原均(筑波大学)</p>
16:50			

学会だより

10月17日(火)

・印:発表者

時刻	D 会場	E 会場	F 会場
14:40	意思決定 (3)	グラフ・ネットワーク (3)	組合せ最適化 (5)
	2-D-4 グループAHPにおけるルートN分の1則の実証—日本列島の面積についての実験データによる— *権藤元, 村越大蔵 (近畿大学)	2-E-4 配管最短経路問題での距離の取扱について *山田康吉 (三菱重工業(株)), 寺岡義伸 (大阪府立大学)	2-F-4 A Polynomial Algorithm for Enumerating Vertices of a Base Polyhedron Ping ZHAN (筑波大学)
	2-D-5 許容区間を伴うグループ合意形成AHP法 山田善靖 (東京理科大学), 八巻直一 (システム計画研究所), 杉山学,*加藤久仁明 (東京理科大学)	2-E-5 Shortest Path Problem with Fuzzy Arc Length 岡田真幸 (足利短期大学)	2-F-5 非巡回的有向グラフ上の $s-t$ パスの列挙 *松井泰子 (東京都立大学), 松井知己 (東京大学), 宇野毅明 (東京工業大学)
	2-D-6 グループAHPを用いた人事評価に対する合意形成手法 *八巻直一 (システム計画研究所), 杉山学, 山田善靖, 加藤久仁明 (東京理科大学)	2-E-6 高速道路の料金を考慮した交通配分問題 *野々峠裕文, 沼田一道 (東京理科大学)	2-F-6 全張木を重さの軽い順に列挙する 松井知己 (東京大学), *松井泰子 (東京都立大学)
15:40			
15:50	意思決定 (4)	グラフ・ネットワーク (4)	ファジイ
	2-D-7 生産性による罰の配分モデルにおける公正な社会契約に関する研究 木谷忍 (東北大学)	2-E-7 最小通過流問題の諸性質と最速路の明示法 *片岡靖詞, 山田武夫 (防衛大学校)	2-F-7 係数間の関係とファジイ解を考慮した対話型多目標計画問題の一解法 *生田目崇, 山口俊和 (東京理科大学)
	2-D-8 推定を併用したバイナリAHP—対比較行列の作成 西澤一友 (日本大学)	2-E-8 最小費用流問題に対する双対スケリング算法 繁野麻衣子 (東京工業大学)	2-F-8 目的関数の係数が決定変数によって変化するファジイ多目的計画問題の近似解法 *鈴木義治 (東京理科大学), 横山哲男 (ソニー(株)), 生田目崇, 山口俊和 (東京理科大学)
	2-D-9 気候変化の電気事業への影響評価と方策 桑畑暁生 ((財)電力中央研究所)	2-E-9 On the Maximum Balanced k -flow Problem (Part 2) 中山明 (福島大学)	
16:50			

学会だより